

大阪府に寄せられたご意見（2023年11月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2023年11月分1,026件 受付期間: 2023年11月1日から2023年11月30日まで

<参考>前年同月: 948件

2023年度(4月から11月まで) 計: 8,190件(署名含む)、7,776件(署名を除く)

2022年度(4月から11月まで) 計: 9,181件(署名含む)、8,260件(署名を除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	755件
○所管外	165件
○その他(趣旨不明等)	106件
計	1,026件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	3件
----------	----

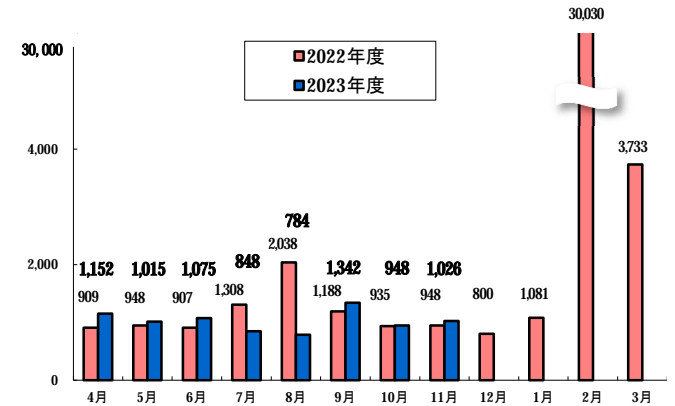
【府政に関する意見(主なもの)】

(1) 大阪・関西万博に関するもの	181件
(2) スポーツ・レクリエーションに関するもの	101件
(3) 高校授業料補助に関するもの	18件
(4) 経営支援に関するもの	17件
(5) 教育施策に関するもの	11件

【受付部署別件数】

・府民お問合せセンター	859件
・府政情報室	162件
・各所属	5件
(所属内訳)	
万博推進局	2件
総務部、財務部(税)、 都市整備部	1件

【件数の推移】



項目別の意見(抜粋)

【大阪・関西万博に関するもの】

- ・2025 大阪・関西万博のシンボルである大屋根(リング)について、閉幕後も保存する案が出ていると報道されていた。1970年に開催した万博のシンボルであった「太陽の塔」も残っているように、シンボルを残すのは当然ではないか。
- ・2025 大阪・関西万博での活用を見込み、ライドシェアを導入することは賛成だ。ただし、導入に当たっては、第二種運転免許を持っていない運転手が有償で人を運ぶことには同意できない。そこで、第二種運転免許を所有している介護タクシー運転手を活用していけばよいのではないか。

【高校授業料補助に関するもの】

- ・近隣府県の私学団体は、府の高校授業料無償化の新制度案の補助上限超過分を全額学校負担とする仕組みの撤回を申し入れたようだ。府外の私立高校が就学支援推進校の希望を出さないことで、授業料支援補助金の支給対象外となり、授業料の全額を保護者が負担することになる。府が定めた補助金額63万円と実際の授業料との差額は学校に負担させるのではなく保護者が負担しても良いのではないか。府は、学校にとっても保護者にとっても無理のない授業料支援制度にするべきだ。

【スポーツ・レクリエーションに関するもの】

- ・野球チームの優勝記念パレード会場の来場者対応に、府は府職員に対してボランティアを要請しているが、報酬も交通費も支給されず、振替休日さえないと報じられていた。部下が断ることのできない立場を利用して、職員を無償で働かせる今回の対応は許されるものではない。もしパレードに職員を動員するのであれば、それ相応の対価を支払うべきだ。
- ・野球チームの優勝記念パレードについて、クラウドファンディングに寄附したかったが、インターネット経由でないと寄附ができないのはおかしい。協賛したい気持ちがあるのにインターネットの利用が難しい高齢者も多いと思うので、誰もが気軽に寄附できるよう、主要な百貨店の窓口での寄附など、インターネット以外の方法も取り入れるべきだ。

【教育施策に関するもの】

- ・府立高校入試での英検利用について、来年度から検定試験の難化及び検定料の増額が予定されており、公平な入学試験が担保できなくなるため、制度を見直すべきだ。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#)」ホームページに掲載しています。

なお、国、市町村などの府以外の官公庁に関するご意見のうち、これらへの伝達を希望されたものについては、各機関に内容をお伝えしました。